

学校法人聖光学園 幼保連携型認定こども園菖蒲幼稚園
2022年度 自己評価結果報告書

1. 園の教育目標 〈心身共に健全なる子どもの育成〉

- ・丈夫な体で元気がよい子
- ・自分のことは自分でする子
- ・友だちと仲良く遊ぶ子
- ・何にでも生き生きと興味を持つ子
- ・思ったことははっきり話し人の話をよく聞く子
- ・いろいろ創意工夫したことを楽しんで表現する子

2. 本年度、重点的に取り組むべき目標や計画

新型コロナ流行3年目を迎え、引き続き感染防止に努める。

子どもの主体的活動を促す保育を進めて行くに当たって、そのことに特化した園愛研修を行い、職員同士のイメージを共有し理解を深めていく。

3. 具体的目標・計画

① 教育課程・指導について

季節やその時期の環境、特に3密に配慮しながら保育を行う。

行事等については、子供の負担軽減と感染防止に気を付けながら、少しずつ本来の形に近づけるよう工夫するものと、引き続き簡素化した形で行うものと検討した。

- ・子供の席が向かい合わせにならないよう、引き続きスクール形式をとった。
- ・お泊まり保育、水遊びや保育参観など密になりやすく感染リスクが高い行事は今年度も見合わせた。
- ・引き続き運動会は種目を減らすなどし、絵画展はバザーの中止とクラス毎縦割りで時間差登園することで密を回避する工夫をして開催した。

② 保健管理について

幼児に対する日常の健康観察と検温の実施

環境検査の実施

感染症対策（マスク、検温、手指消毒、除菌）

- ・登園の際はマスク着用とし、園児・保護者とも検温を行い、熱のある場合はその場で帰宅を促した。また、入室の際は必ず手指消毒を行うよう指導した。
- ・各保育室に空気清浄機を設置し、窓を開けての換気とあわせて室内環境を整えることに努めた。
- ・ドアノブや手摺り、その他、人の手の触れる所やおもちゃの消毒を定期的に行った。
- ・園薬剤師に依頼して空気、照度、騒音、水質の検査を実施した。（6月と2月）
- ・手指消毒液と除菌用薬剤、使い捨てビニール手袋を常備。
- ・4月に職員健康診断実施。5月と11月に園児健康診断、6月と12月に園児歯科検診を実施した。

③ 安全管理について

園庭遊具の安全点検並びに修繕等

緊急地震速報装置・防犯カメラ・110番通報装置の点検整備

園庭側昇降口の安全

- ・「園生活のしおり」の中に災害時の引取方法について記載した。
(あわせて引取者登録カード、園児引渡カードを作成、保護者に配布・回収)
- ・1学期、避難訓練と合わせて引渡(引取)訓練を行った。
- ・110番通報装置の法定点検を実施した。(6月と11月)
- ・補助金を利用して災害時用自家発電システムを購入した。
- ・昨年9月に起こった送迎バス園児置き去り事故に端を発した置き去り防止装置の装着義務化に伴い、補助金要綱の通知を待って装着を検討する。(R5年6月装着予定)

④ 特別支援教育について

学年を中心に支援を要する子どもへの対応について協議をし、園全体で協力体制を築くことで、子どもの成長発達の援助を行う。

また、外部講師とともに幼児一人一人に対する個別指導のあり方を研究する

- ・子供が通う療育施設の担当者と連携を図りながら支援を行った。

⑤ 組織運営について

教職員への就業規則の周知(年度当初)

教職員への情報の取り扱い方針の周知(年度当初)

- ・4月、辞令交付後に教職員で就業規則の読み合わせを行った。
あわせて個人情報の取り扱い、守秘義務について周知した。

⑥ 研修(資質向上の取り組み)について

新採研・三年次研修・幼稚園教育研究協議会・保育実践研究協議会・埼北地区教員研修会等への参加

保育園については、幼保一体化園研修会への参加

園内研修(子供主体の保育)の実施

- ・全日私幼連全国設置者園長研修大会…
- ・全日私幼連関東地区教員研修大会…園長
- ・全埼私幼連教職員大会…園長、飯塚、千葉、四ツ釜(章)、宇塚、猪野、田口、
- ・新規採用教員研修(年10回)…小林
- ・全埼私幼連三年次研修会…
- ・全埼私幼連園長主任研修会…園長、古泉、
- ・全埼私幼連中堅教員研修…
- ・全埼私幼認定こども園研修会…
- ・全埼私幼連特別支援研修会…

- ・全埼私幼連保育実践研究協議会…千葉、宇塚、山崎、佐藤、根岸、枡嶋、田中、
- ・久喜市人権映画…園長、山崎、小林、奥野
- ・全埼私幼連0・1・2歳児研修…
- ・4団体教育交流会…園長
- ・埼玉県幼稚園等教育研究協議会…
- ・保育士等キャリアアップ研修…飯塚、千葉、宇塚、田口、
- ・東部地区人権教育研修会…山崎
- ・埼北地区研修会…飯塚、千葉、宇塚、古泉、山崎、田中、猪野、田口
- ・S I あそび初任者研修会…小林
- ・合同就職説明会…園長、古泉、宇塚
- ・支援センター担当者連絡協議会(2回)…佐藤、鈴木
- ・幼児音体教育講習会…
- ・地域子育て支援士従事者研修会（虐待防止）…佐藤、枡嶋
- ・発達支援研修…山崎、
- ・送迎バス安全管理研修…猪野

⑦ 情報提供について

- 園生活のしおり（年度当初）
- 園だより（毎月）
- 募集要項（入園対象児保護者）
- 携帯メール連絡網による情報提供

- ・上記資料により、情報提供を行ったほか、保育園では送迎時にホワイトボードを用いて諸連絡等の情報提供を行った。
- ・携帯メールにて園便りを保管する情報を提供した。
- ・動画配信アプリを利用して行事の様子を配信した。

⑧ 保護者・住民との連携

- 父母の会との連携による行事運営
- わんわんクラブ活動（交通安全・防犯指導）
- 上記以外の保護者の保育参加、地域住民の保育参加のあり方の検討

⑨ 子育て支援（預かり保育を含む）

- 地域子育て支援センターの運営**
- 父母の会との共催で教養講座の開催
- 毎月の園だよりによる子育て情報の発信
- 一日先生体験「にこにこママ(パパ)先生の実施

- ・26年4月から開設した地域子育て支援センター「ぼびーる一む」も9年目を迎えた。
- ・今年も新型コロナウイルス感染症の制限が緩和されたことを受け、グループの活動人数を増やして行った。
- ・就労する保護者(母親)が増え、父母の会の役員決めが困難な状況が続いていたため組織を見直し、四役以外は行事の係とした。
- ・父母の会の協力により、各種行事を滞りなく開催することができた。

- ・お母さん先生による交通安全指導・防犯指導を行った。(3回→2回)
- ・保育部では、親支援事業として「おまつりごっこ」、「保育参加体験」を行った。
- ・「しつけ事典」から子育てのアドバイスを抜粋、毎月の園だよりで情報発信した。
- ・保護者の保育者体験事業として「にこにこママ(パパ)先生」を再開した。

⑩ 教育環境整備

- ・卒園記念品として、すみれ、さくら、ふじ、それぞれの年齢にあったおもちゃを購入した。

<全体を通しての自己評価>

- ・新形コロナウィルス感染が3年目となり、手指消毒やマスク着用に慣れてきていた。
- ・行事については、昨年同様に新型コロナ感染防止の工夫をした。(運動会、絵画展は、前年度同様に縮小・簡素化して行った)
- ・密になるため保育参観の実施を見送ったが、保護者から園での様子を知りたいという要望が多くあったので、一日ママ先生を行い、子どもを見る機会を提供することができた。
- ・コロナ禍に陥って以来、保育の見直しを行って行く中で、もう少し子どもの主体的な活動が展開できるような保育にシフトしていったらどうかという機運になり、幼児教育研究機構の元教育研究委員長を招き、教職員全員で園内研修を行った。
それをもとに主任クラスによる園内研修と中堅クラスの職員による園内研修を行い、改めて全職員による園内研修を行ってイメージを共有すると共に、新年度教材の見直しを行った。
- ・卒園記念品として、それぞれの学年に購入した玩具の扱い方、単に遊ばせるだけでなく、子どもの知的好奇心を刺激するような有効的な使い方を研究していきたい。

<学校関係者による評価>

コロナ禍が落ち着いてきて、活動が平常に近づいてきたことは喜ばしいことである。しかし、コロナがなくなった訳ではないので、引き続き感染予防に努めながら子どもたちに楽しい思い出が残るよう先生方には頑張ってもらいたい。

働く保護者が増えているとのこと、役員活動の見直しはありがたいことである。園と役員の方々と協力体制をとって充実した行事を行って欲しい。